

## 南牧村誌 目次

序文	南牧村誌刊行会長	菊池和儀	一
祝、推進役を果して	南牧村文化財調査委員長	菊池猛春	二
序文	南牧村教育委員長	津金謙太	三
題字	南牧村教育長	今井長夫	三

## 第一編 自然編

## 第一章 村の自然と地理

菊池清人 三

## 第二節 村の自然

一 南牧の地名はどうしてつけられたか	三	夏日	9	多い雷雨とひょう	10	多い北	
二 位置・地形・面積・広がり・山と川	三	西風	11	多い日照時間	12	多い霧	
1 位置・地形・面積	五	13 低い温度	14	低い水温			
2 山と川	五	(一) 南牧村の気候					
三 佐久の気候と南牧村の気候	九	四 南牧村各河川の水質と稲作					
(一) 佐久の気候	九	五 南牧村の土質					
1 低い気温	3	(二) 南牧村の地理					
2 おそい春に早い秋	3	一 人口・戸数					
較差の大きい内陸性気候	4	二 土地					
4 少ない降水量	7	三 民家					
5 永い雪の季節	7						
6 永い霜の期間	7						
7 少ない真	7						
8 多い結氷日数と冬日・真冬日	8						

四 交通・通信……………三六

五 南牧村の地名……………四〇

1 地名の分類……………3

2 南牧村の地名……………3

南牧村の小さな名……………

六 村の地域性の一例……………五三

海の口川崎製材所……………

七 温泉……………五五

泉……………

第二章 南牧村の動物……………六

一 まえがき……………六

二 南牧村の動物分布概観……………七〇

三 南牧村の古動物……………七三

1 ナウマンゾウ……………3

2 モウコウマ……………3

3……………

まとめ

四 南牧村の現生動物……………七七

(一) 南牧村の哺乳動物……………七七

(1) 偶てい目の動物……………七七

① イノシシ……………

② シカ……………

③ ニホン……………

カモシカ

(2) 食肉目の動物……………八三

① ハクビシン……………

② アナグマ・タヌキ……………

③ イタチとオコジョ……………

・マミとムジナ

八 観光……………六二

湯……………

1 本沢温泉……………2

2 海の口温泉……………3

3 鹿の……………

1 ハケ岳国定公園……………2

2 野辺山高原……………3

飯盛山……………4

4 海の口温泉郷……………5

5 海の口牧……………7

場……………6

6 野辺山宇宙電波観測所……………7

7 野辺……………

山太陽電波観測所

(3) げつ歯目の動物……………八九

④ キツネ……………

⑤ ツキノワグマ……………

(3) げつ歯目の動物……………八九

① ヤマネ……………

② ムササビとモモンガ……………

③ リス……………

(4) 兎目の動物……………九一

① ノウサギ……………

(5) 霊長目の動物……………九三

① ニホンザル……………

(6) 翼手目の動物……………九三

① コウモリ……………

(7) 食虫目とげつ歯目の動物……………九四

① モグラとネズミ……………

A 食虫目 B げつ歯目(ネズミ類)

- (8) まとめ……………九
- (一) 南牧村の鳥類……………一〇〇
- 〔一〕 南牧村の鳥類……………輿水太伸……………一〇〇
- (1) はじめに……………一〇〇
- (2) 野鳥の渡来変動……………一〇四
- (3) 野鳥の月別種数の変動……………一〇九
- (4) 南牧村の野鳥の話題……………一一〇
- ① オオミズナギドリ ② コサギ・チ  
 ユウサギ ③ ワシ・タカ科の鳥 ④  
 ライチヨウとキジ ⑤ セグロセキレイ  
 のアルビノ
- (5) まとめ……………一二七
- 〔二〕 南牧村の野鳥……………井出修一……………一二八
- (1) 南牧村の概観……………一二八
- (2) 各地域の主なる鳥……………一二八
- ① ハケ岳連峰、標高一四〇〇mより上に  
 生息する鳥 ② ハケ岳山麓の鳥 ③  
 千曲川とその支流・集落付近の鳥
- (3) 終りに……………一二五
- (三) 南牧村の爬虫類……………井出明雄……………一二五
- (1) はじめに……………一二五
- (2) カメ目……………一三五  
 ① クサガメ ② イシガメ ③ アカ
- ミミガメ
- (3) トカゲ目……………一二七
- ① トカゲ亜科 ② カナヘビ
- (4) ヘビ亜目……………一二八
- ① ヘビ亜目 ② シマヘビ ③ ジム  
 グリ ④ アカジムグリ ⑤ アオダイ  
 ショウ ⑥ ヒバカリ ⑦ ヤマカガシ  
 ⑧ マムシ
- (5) ヘビ俗説(まじない、禁忌)……………一二三
- (6) ヘビの体構造と生活様式……………一二三
- (7) 薬としてのヘビ……………一二三
- (8) まとめ……………一二四
- (四) 南牧村の両棲類……………井出明雄……………一二四
- (1) はじめに……………一二四
- (2) サンショウウオ目……………一二四
- (3) イモリ目……………一二四
- (4) カエル目……………一二四
- ① ヒキガエル ② アマガエル  
 タゴガエル ④ ヤマアカガエル ⑤  
 カジカガエル
- (5) まとめ……………一二四
- (五) 南牧村の魚類……………井出明雄……………一二五
- (1) はじめに……………一二五

- (2) 南牧村の魚類……………一五
- ① スナヤツメ ② ヤママ ③ ニジマス ④ イワナ ⑤ アユ ⑥ ウグイ ⑦ アブラハヤ ⑧ コイ ⑨ フナ ⑩ ドジョウ ⑪ ホトケドジョウ ⑫ シマドジョウ ⑬ アカザウ ⑭ カジカ
- (3) まとめ……………一六
- (六) 南牧村の昆虫類……………奥水太仲……………一三
- (1) 昆虫類概要……………一三
- 〔一〕 膜翅目……………高見沢今朝雄……………一三
- (1) ハチ類……………一三
- ① ハチ概観……………一五
- (2) スズメバチ科スズメバチ属……………一六
- (3) クロスズメバチ属……………一六
- (4) ホオナガスズメバチ属……………一六
- (5) アシナガバチ属……………一七
- (6) ミツバチ科 マルハナバチ属……………一七
- (7) ミツバチ属……………一七
- (8) まとめ……………一七
- 〔二〕 鞘翅目 甲虫類……………一八
- (1) はじめに……………一八
- (2) 南牧村の甲虫類概観……………一八
- ① ハンミョウ科 ② オサムシ科 ③ ゴミムシ科 ④ ゲンゴロウ科 ⑤ ハネカクシ科 ⑥ センチコガネ科 ⑦ コガネムシ科 ⑧ コメツキムシ科 ⑨ ホタル科 ⑩ カミキリムシ科 ⑪ テントウムシ科 ⑫ ハムシ科 ⑬ オトシブミ科 ⑭ ゾウムシ科
- (3) まとめ……………一九
- 〔三〕 翅鱗目……………二〇
- (イ) チョウ類……………二〇
- (1) 概要……………二〇
- (2) 保護すべきチョウ……………二〇
- ① ヒメギフチョウ ② ミヤマシロチョウ ③ 八ヶ岳の高山蝶
- (3) まとめ……………二〇
- (ロ) 蛾類……………二〇
- (1) 蛾類概要……………二五
- (2) 蛾類科別の概説……………二五
- ① ハマキガ科 ② イラガ科 ③ メイガ科 ④ シャクガ科 ⑤ カレハガ科 ⑥ カイコガ科 ⑦ スズメガ科

科 ⑧ シヤチホコガ科 ⑨ ドクガ  
科 ⑩ ヒトリガ科 ⑪ ヤガ

(3) まとめ……………二五七

〔四〕水生昆虫類……………岸本 享……………二五八

(1) 水生昆虫類概要……………二五八

(2) 水生昆虫各類の解説……………二五九

① カゲロウ類 ② カワゲラ類

③ トビゲラ類

(3) 南牧村とその付近の水生昆虫……………二六五

〔五〕トンボ類……………二六六

(1) はじめに……………二六六

(2) 南牧村でみられるトンボ……………二六九

① イトトンボ科 ② カワトンボ

科 ③ オニヤンマ科 ④ エゾ

### 第三章 南牧村の植物……………

はじめに……………二六四

第一節 南牧村の植物相と植生概観……………二六五

一 南牧村の植物相……………二六五

二 概生概観……………二六八

イトトンボ科 ⑤ トンボ科

(3) まとめ……………二七三

〔六〕唇脚類と倍脚類……………二七四

(1) ゲジ・ムカデ・ヤスデ……………二七四

① ゲジ ② ムカデ ③ ヤスデ

(2) まとめ……………二七七

〔七〕腹足類(貝類)……………二七七

(1) 貝類概観……………二七七

(2) 南牧村の貝類……………二七八

① タニシ ② カワニナ

モノアラガイ ④ ヒラマキガイ

⑤ キセルガイ ⑥ オナジマイマ

イ ⑦ ナメクジ

(3) まとめ……………二八二

五 あとがき……………二八三

### 山崎 惇……………二八四

1 植生と植物群落 2 植生概観

第二節 現存植生……………二九三

一 代償植生……………二九三

1 耕作地およびその周辺の植生……………

2 二次林

(1) コナラ林 ミズナラ林 (2) シラカンバ

ヤエガワカンバ林 (3) ズミ林 (4) 低木

マント群落 (5) 植林地の植物群落

二 自然植生……………三〇七

1 低山帯 2 亜高山帯 3 高山帯

第三節 各地域の植物……………三二

一 男山および川東地区……………三二

1 川平部落ノ新田 2 男山 3 大蔵峠

4 広瀬付近 5 大芝ノ大芝峠付近

二 千曲川西岸地区……………三五

1 海の口本村付近 2 森下部落付近 3

海尻

三 野辺山高原一帯……………三七

1 海の口牧場、西部別荘地 2 板橋、野辺山

高原

四 平沢、飯盛山地区……………三〇

第四章 村の地質……………

第一節 地質学的に見た南牧村の位置……………三六

1 平沢から開拓地へ 2 胴塚から宮司の滝

へ 3 しし岩から飯盛山へ 4 飯盛山東

斜面 5 三沢川流域の湿原……………三三

五 八ヶ岳山岳部……………

1 硫黄岳山腹 2 横岳登山路 3 赤岳

県界尾根……………三六

第六 八ヶ岳高山帯……………三六

第四節 特殊植物と貴重植物……………三六

1 天然記念物 海尻のヒメコマツ 2 天然記

念物 八ヶ岳ヤエキバナシヤクナゲ自生地 3

飯盛山のさかさガシワ 4 平沢のしだれグリ

5 タルマイスゲ 6 スマガヤ中間湿原とミズ

ゴケ群落 7 ヤエガワカンバ林 8 ザゼン

ソウの大群落 9 ハシバミ林 10 ヒメグル

ミ 11 オニゼンマイの大群落 12 ミカヅキ

グサ 13 シロスミレ 14 マルバウマノスズ

クサ

友野 邦彦……………三六

1 千曲川の東西で大きくちがう地質 2 岩村

田―若神子線が走る南牧村 3 フオッサ・マダ

ナの中央に位置する八ヶ岳火山 4 関東山地と  
赤石山地は約九十度の角度で交わる

第二節 南牧村の生いたち……………三九

- 1 先カンブリア代 2 カンブリア紀 3  
オルドビス紀 4 シルル紀 5 デボン紀  
6 石炭紀 7 二畳紀 8 三畳紀 9  
ジュラ紀 10 白亜紀 11 古第三紀 12  
中新世 13 鮮新世 14 第四紀

第三節 天狗山層群……………三七

第四節 合羽坂層群……………三〇

第五節 高登谷層群……………三三

第二編 歴史編……………四三

第五章 村の歴史……………四五

第一節 先土器時代(旧石器時代)……………四五

- 一 南牧のあけぼの……………四五  
二 人類のあゆみ……………四六

第六節 飯盛山火山岩類……………三六

第七節 八ヶ岳火山……………三六

1 地質の概要

2 地質各論

- (1) 古八ヶ岳期 (2) 新八ヶ岳期

第八節 広瀬付近の地質……………四五

第九節 湯川地域の地質……………四七

第十節 海の口本村産のナウマンゾウ  
の化石……………四六

三 旧石器時代……………四七

- 1 日本人の源流 2 日本最初の細石器の発見  
3 矢出川遺跡群への発展 4 矢出川シンボジュウムとその後の展開  
5 京都女子大学の調査 6 各遺跡の概要 7 南牧村

第二節 縄文時代(新石器時代)

土屋 忠 芳…………… 四三

- 一 しなの入遺跡…………… 四四
  - 二 中の沢遺跡…………… 四六
  - 三 よしの頭遺跡…………… 四六
  - 四 大丸山中腹遺跡…………… 四七
  - 五 青木南遺跡…………… 四六
  - 六 川平北遺跡…………… 四六
  - 七 七軒家遺跡…………… 四六
  - 八 豊野原遺跡…………… 四六
  - 九 広瀬上の台遺跡…………… 四九
  - 一〇 広瀬野辺山遺跡…………… 四七〇
  - 一一 京都女子大学の調査…………… 四七〇
  - 一二 遺跡概観…………… 四七五
- 第三節 弥生時代…………… 土屋 忠 芳…………… 四七七
- 一 米の伝来…………… 四七七
  - 二 弥生式土器と石器…………… 四七九
  - 三 土師器と須恵器…………… 四八〇
  - 四 南牧村出土品の一覧表…………… 四八〇

第四節 古墳時代・奈良時代

菊池 清 人…………… 四八四

- 一 佐久の古墳…………… 四八四
  - 二 科野国と三輪氏・日置氏の入信…………… 四八七
  - 三 大伴氏の入信と滋野氏…………… 四八八
  - 四 安曇族の入信…………… 四九二
  - 五 阿蘇氏の入信…………… 四九六
  - 六 布施氏と芦田氏の佐久移住…………… 四九八
  - 七 跡氏(阿刀部氏)の佐久移住…………… 五〇一
  - 八 諏訪国、信濃国より分れる…………… 五〇二
  - 九 佐久の開拓と新海神社…………… 五〇三
  - 一〇 諸氏族の入信の原因…………… 五〇三
  - 一一 泰氏と大奈良・田口と田口氏…………… 五〇三
  - 一二 佐久に来た氏族と祭神…………… 五〇四
  - 一三 望月氏甲賀に移り甲賀忍者となる…………… 五〇六
  - 一四 南牧村からの出土品…………… 五〇九
  - 一五 古代の交通…………… 五二〇
- (一) 南牧村の古代交通路…………… 五二〇
- 1 平沢峠 2 臨幸峠と合羽坂峠…………… 五二〇
- (二) 古墳時代の東山道…………… 五二二
- 1 古い東山道の道すじ 2 神坂峠と大門峠…………… 五二二
  - 3 入山峠 4 古代の重要路香坂峠…………… 五二二

(三) 奈良・平安時代の東山道……………五〇

第五節 平安時代……………五三

一 八ヶ岳崩れ南牧湖と松原湖できる……………五三

(一) 八ヶ岳崩壊の諸資料……………五三

- 1 史料から 2 土器・石器の出土がないこと 3 埋木から 4 松原湖中の石塔

婆 5 大月川と千曲川の不協和 6 地名から 7 地形から 8 伝説から

9 南牧湖の欠壊 10 ツンドラから 11 地質学から 12 条理制遺構から 13 ローム層のない事 14 埋木の年代測定その他

(二) 八ヶ岳崩壊の原因と南牧湖・小海湖の生成……………五二

二 広瀬の開拓はじまる……………五四

三 佐久の八郷……………五〇

1 佐久の八郷 2 美理郷 3 大村郷

4 大井郷 5 茂理郷 6 小沼郷 7 刑部郷 8 青沼郷 9 余戸郷 10 佐久の郡役所

四 古代の神社と寺院……………五一

- 1 大伴神社 2 英多神社 3 長倉神社 4 妙楽寺

五 古代の牧場……………五七

- 1 官牧 2 甲斐国柏前牧 3 長倉牧 4 塩野牧 5 望月牧

六 木曾義仲の拳兵と佐久の武士……………五〇

(一) 武士のおこりと佐久の武士……………五〇

(二) 保元の乱に根井行親奮戦して傷つく……………五三

(三) 木曾義仲の拳兵に佐久の武士多く加わる……………五四

1 義仲、根井行親をたよる 2 横田河原の戦、義仲平氏の軍を破る 3 水津の戦、根井行親先陣をつとめる 4 砺波山の戦、平氏十万の軍を破る 5 加賀篠原の戦 6 義仲の軍京都に入り、平氏西国へ走る 7 義仲、義経の軍に敗れ義仲等戦死 8 根井・今井・樋口・館氏上州に逃亡

(四) 根井氏等の館跡……………五〇

1 根井氏の館跡と供養塔 2 樋口二郎兼光と八千穂村樋口 3 佐久町館、館六郎親忠の館跡 4 今井四郎兼平の館跡 5 落合五郎兼行の館跡

七 古代の開発地名……………五八

1 県地名とくねの内 2 かいと 3 反田・五反田 4 ざいけ

五八

五八

五八

第六節 鎌倉時代・南北朝時代…………… 六五

- 一 南牧村は佐久伴野庄…………… 六五
- (一) 荘園の成立…………… 六五
- (二) 伴野庄の領域…………… 六七
- (三) 伴野庄の年貢…………… 六三
- (四) 伴野庄の伝領…………… 六三
- (五) 伴野庄の地頭(武士)…………… 六九
- (六) 建武の新政と伴野庄…………… 六四
- (七) 荘園の変質・崩壊と伴野庄…………… 六五
- (八) 伴野庄の産業と経済…………… 六八
- (九) 伴野氏の館跡…………… 六四
- (一〇) 伴野庄の交通…………… 六四
- (一一) 伴野庄に属していた南牧村…………… 六八
- 二 その後の伴野氏の興亡…………… 六五
- (一) 承久の乱に佐久の武士加わる…………… 六五
- 1 春日貞幸功名を立てる 2 伴野遠久・北条時氏の馬を治療する……………
- (二) 一遍上人に伴野時直帰依する…………… 六三
- (三) 伴野氏の自家滅亡し伴野氏おとろえる…………… 六四
- (四) その後の伴野氏…………… 六五
- (五) 武蔵野合戦に伴野十郎加わる…………… 六五

第七節 室町時代・安土桃山時代…………… 六五

- 一 伴野氏の興亡…………… 六五
- (一) 大塔合戦に伴野・平賀・田口氏加わる…………… 六五
- 1 大塔合戦の原因 2 大塔合戦で小笠原軍敗れる……………
- (二) 大塔合戦後伴野氏・大井氏再び守護と戦う…………… 六三
- (三) 戦国時代佐久も乱世となる…………… 六三
- 1 伴野氏と大井氏の戦い 2 前山城 3 貞祥、貞祥寺をつくる……………
- 二 武田氏の佐久占領…………… 六三
- (一) 甲斐の武田氏…………… 六三
- (二) 武田軍佐久に侵入…………… 六五
- (三) 平賀源心について…………… 六六
- 1 平賀源心海の口城で戦死説…………… 高見沢歳雄
- 2 平賀源心海尻城で戦死説 3 平賀玄心 4 竹原(平賀)で戦死説 4 平賀源心は大井源心であるという説 5 平賀源心は架空の人物説……………
- (四) 海尻城と海の口城・広瀬城・平沢城…………… 六七
- 1 海尻城址 2 海の口城址…………… 高見沢歳雄
- 3 広瀬城址 4 平沢城址 5 野辺山 原出土の鉄鍬……………

- (内) 内山城と志賀城の陥落…………… 六一
- 1 内山城落城する…………… 2 志賀城の攻略…………… 六四
- (六) 田口氏、田口城で滅ぶ…………… 六四
- 1 田口氏の滅亡…………… 2 佐久衆再び信玄にそむく…………… 3 原虎頭、松原神社に戦勝を祈る…………… 六六
- (七) 武田信玄、関東へ進攻…………… 六七
- 1 西上州への進攻…………… 2 武田信玄松原神社に戦勝を祈る…………… 3 信玄、新海神社に戦勝を祈る…………… 4 信玄、将士から起請文を出させる…………… 5 信玄、小海町松原諏訪神社に鐘を寄進…………… 七〇
- (八) 武田氏、駿河へ進出…………… 七〇
- (九) 武田信虎、伝馬の制をしく…………… 七〇
- (十) 武田氏の使った道と信玄の棒道…………… 七三
- 1 武田氏の使った道…………… 2 信玄の棒道…………… 七三
- 3 千曲川東岸の道路…………… 七三
- (一) 武田氏の烽火台…………… 七三
- (二) 武田信玄の海の口宿泊…………… 七〇
- (三) 武田氏の政治…………… 七三
- 1 宗教政策…………… 2 金山採掘…………… 3 検地…………… 七三
- (四) 武田信玄の軍制…………… 七三
- (五) 武田信玄の葬式…………… 七四
- (六) 武田氏の滅亡と井出氏の活躍…………… 七六
- 1 武田氏ほろびる…………… 2 海尻の井出氏、武田氏、次いで北条氏に属す…………… 七三
- 資料 武田氏の使用した印判と花押…………… 七三
- (七) その後の佐久の領主…………… 七五
- 1 佐久は澁川一益領となる…………… 2 佐久は依田信蕃領となる…………… 3 依田信蕃、岩尾城で戦死…………… 4 松平康国小諸城に入る…………… 5 仙石秀久佐久を領す…………… 七五
- (八) 北相木村白岩の戦いで伴野氏滅びる…………… 七五
- (九) 大坂冬の陣と夏の陣…………… 七五
- (十) 戦国時代の佐久の武士と城…………… 七六
- (一) 平沢城と小村入道源心…………… 七六
- (二) 戦乱による百姓の逃亡…………… 七六
- 三 相木・小海は大井庄…………… 七六
- (一) 大井庄の地頭と本家・領家…………… 七六
- (二) 大井庄関係史料…………… 七六
- (三) 大井庄の領域…………… 七六
- (四) 大井庄の伝領…………… 七六
- (五) 大井氏の城と居館跡…………… 七六
- (六) 大井氏の系図…………… 七六
- (七) 大井氏の活躍…………… 七六
- 1 中先代の乱、天皇軍大井城を攻略…………… 2 永享の乱、大井氏永寿王をかくまう…………… 3 大井氏の本家滅びる…………… 七六

四 平賀郷と山田郷……………七六

(一) 平賀の領域……………七六

(二) 平賀氏の居館……………七七

(三) 平賀氏の活躍……………七八

1 平治の乱に平賀義信奮戦

2 平賀義信、駿河守・武藏守となる

3 平賀景宗、源義經に従い平氏を討つ

4 平賀朝雅、京都守護職となる

5 平賀新三郎維時と平賀四郎

6 平賀三郎、護良親王に従って功をたてる

7 平賀氏の滅亡

(四) 山田郷その他……………七九

第八節 江戸時代……………七九

一 善光寺は南牧村等の木でつくった……………七九

二 村の産業……………八〇

(一) 農 業……………八〇

(二) 林業(御林と百姓持林・入会山御巢鷹山)……………八三

(三) 狩 猟……………八七

(四) 馬の飼育……………八九

(五) 諸 産 業……………八三

1 石灰 2 明礬 3 硫黄……………八三

(六) 諸職人と商人……………八五

三 村民のくらし……………八六

(一) 村役人と村民……………八六

(二) 宗門帳からみた人口・戸数……………八六

(三) 村民のくらし……………八三

1 着物 2 食物 3 住居(海尻村の農家)

4 温泉への入湯 ①海の口温泉

②八ヶ岳温泉 5 苦しかった村民の暮し

四 江戸時代の村の様子……………八五

(一) 平 沢 村……………八五

(二) 海 の 口 村……………八六

(三) 海 尻 村……………八七

(四) 広 瀬 村……………八八

(五) 板 橋 村……………八三

1 村のはじまり 2 伝馬と飛脚 3 村の様子 4 郷倉と貯穀 5 板橋の由来……………九六

(六) 矢出原三軒屋……………九六

1 村のはじまり 2 三軒茶屋の大きさと火事……………九五

五 災 害……………九五

(一) 浅間山の噴火と凶作……………九五

1 浅間山の生いたち 2 浅間山噴火の記

録 3 天明三年の大噴火 4 凶作の記

録 5 浅間山の大噴火による凶作 6……………八六

録……………八六

録……………八六

録……………八六

天明の騒動 7 天明三年の凶作と南牧村	三六
(一) 天保の凶作と騒動	三六
1 天保の凶作 2 天保の凶作と南牧村	三六
(二) 火事と水害	九四
1 平沢村の大火 2 板橋村の水害	九四
3 文政八年の水害	九四
(四) 事件	九三
六 交通—佐久甲州街道と峠	九五
(一) 五街道の設置と脇街道	九五
(二) 佐久甲州街道の宿場と一里塚	九五
(三) 板橋への移住	九六
(四) 仙石氏の道ぶしん	九五
(五) 矢出原三軒屋の設置	九六
(六) 平沢宿	九六
(七) 平沢村徳次郎による野辺山原の道普請	九六
(八) 旅と木賃宿	九七
(九) 先触れと休泊割	九七
(一〇) 送り荷数と荷物	九七
(一一) 人馬賃銭と手数料	九七
(一二) 九カ宿の議定	九七
(一三) 伝馬・商荷継送りの争い	九七
(一四) 庶民の旅行と通行手形	九八
(一五) 遊行上人の通行	九八
1 文政八年の通行 2 嘉永三年の通行	九八
(一) 和宮の通行と大助郷	九八
(二) 平沢峠	九八
(三) 夏沢峠	九八
(四) 大月橋の橋組合	九八
(五) 上州へ米の運搬	九九
(六) 佐久甲州街道の道すじ	九九
(七) 海尻宿	九九
七 五人組と生活の規制	一〇〇
(一) 五人組帳と生活の規制	一〇〇
(二) 御触書	一〇〇
八 村の石高と耕地の増加	一〇一
(一) 領主と代官	一〇一
(二) 検地と村の石高	一〇一
(三) 田畑の増加と新田開発	一〇二
1 田畑の増加 2 新田開発 (1) 庄之丞	一〇二
新田 (2) 伴蔵の新田開発願 (3) 六カ所新田	一〇二
開発の反対 (4) 油井桑三郎の新墾記念碑	一〇二
(5) 郷倉 (6) 人口の増加	一〇二
九 村の税金	一〇三
(一) 年貢	一〇三
(二) 板橋村の年貢	一〇三
(三) その他の年貢	一〇三

	(四) 村税と村入用夫錢帳……………	一〇七〇
	(四) 献 金……………	一〇七四
	(六) 江戸時代のカネの価値……………	一〇七五
	一〇 寺子屋教育と学芸……………	一〇七七
	1 寺子屋のはじまり……………	2 菊池退助……………
	3 菊池金之助……………	4 菊池文吾……………
	5 菊池金之助……………	6 井出昌三郎……………
	7 横森忠蔵……………	8 井出
	9 井出親寛……………	10 井出英作……………
	井出正元……………	一一〇五
	一一 病氣と治療……………	一一〇五
	1 流行病……………	2 種痘……………
	第九節 明治・大正・昭和……………	一一〇七
	一 明治時代……………	一一〇七
	(一) 町村合併……………	一一〇七
	(二) 明治初年の村の様子……………	一一〇八
	1 海の口村……………	2 広瀬村……………
	3 海尻村……………	4 平沢村……………
	5 大明村……………	資料 島崎藤村『千曲川のスケッチ』……………
	一一〇	(三) 秩父事件と地域動向……………
	上 原 邦 一……………	一一二四
	1 事件のもつ意義……………	2 村の夜明け……………
	3 世直し騒動……………	4 山林官有化の問題……………
	5 道路開さくの問題……………	6 自由党組織の活動……………
	7 燃えあがる民権……………	8 武力蜂起への加担……………
	9 困民軍旋風と村々……………	10 防衛から攻撃への対応……………
	11 日記にみる秩父事件……………	12 困民軍通過と海尻の態勢……………
	13 海の口村の状況……………	14 民権弾圧の姿……………
	(四) 山梨県清里村等との境界争い……………	一一五
	(五) 海の口の馬市……………	一一三
	(六) 郵便制度……………	一一三
	1 わが国の郵便制度のはじまり……………	高見沢 正……………
	2 南牧村の郵便制度……………	二一五
	二 大正時代……………	一一六
	(一) 大正時代の南牧村の様子……………	一一六
	1 位置・境界……………	2 広さ……………
	3 地形と気候……………	4 沿革……………
	5 小学校……………	6 官庁……………
	7 特殊の事項……………	8 人物……………
	9 名勝旧蹟……………	10 社寺……………
	(二) 水 害……………	井出正元……………
	一一七	三 昭和に入って……………
	一一七	(一) 戦争と村民……………
	一一七	1 日露戦争……………
	2 太平洋戦争中の生活……………	3 終戦後の混乱と飢餓……………
	4 菊池猛春……………	5 戦没英霊名……………
	井出正元……………	6 野辺山原軍用演習地……………
	吉沢与四郎……………	

(一) 野辺山原開拓の歩み……………土屋忠芳…二八九

1 終戦当時の状況 2 入植の本格化

3 野辺山の畜産と蔬菜キの発展……………土屋忠芳

(1)馬と南牧 (2)二つ山牧場 (3)最初の青果物

出荷 (4)板橋における水田の成功 (5)甘藍採

取組合 (6)野辺山原の牧場経営 (7)野辺山高

原蔬菜組合 (8)椎茸出荷組合 (9)養狐・養狸

(10)大滝農場と農地開発営団 (11)陸軍演習地

(12)戦後の野辺山 (13)沢庵工場の繁栄と衰退

(14)洋菜の興隆 (15)酪農の振興と発展

(二) 南牧村の水道……………高見沢 正…三〇三

(四) 八ヶ岳硫黄採掘問題……………菊池 猛春…三〇四

(五) 千曲川上流ダム計画の動き……………三〇五

(六) 防火と農業用水路……………渡辺 寅王…三〇八

(七) 平沢の酪農……………渡辺 寅王…三〇九

四 諸団体の創立とその活動……………三三〇

(一) 南牧村の教育……………高見沢 正…三三〇

1 明治維新前 2 明治の教育 3 大

正時代の教育制度 4 昭和の教育制度

5 南牧村の教育 6 南牧小学校沿革表

(1)南牧小学校沿革表

(2)南牧北小学校沿革表……………赤岡正太

(3)南牧南小学校沿革表……………寺島友造

(4)南牧中学校沿革表……………坂口省三

(一) 南牧村婦人会の歩み……………井出けゑ子…三四五

(二) 青年 団……………最近の活動……………三五七

(三) 青年 団……………最近の活動……………三五七

(四) 消防 団……………井出 正元…三六三

(五) 遺 族 会……………井出 正元…三六三

(六) 老人クラブ……………高見沢 正…三六四

(七) 公 民 館……………菊池 猛春…三六五

(八) 農業協同組合の歩み……………畠山 重雄…三六八

1 産業組合法の制定 2 産業組合の活動

3 無限責任南牧信用組合の誕生 4 南牧

信用購買販売組合の発足 5 農業恐慌と産

業組合運動 6 戦時体制下の産業組合

7 農業会の活動 8 農業協同組合の誕生

9 農協の草創期 10 高度経済成長期

11 低経済成長期 12 八ヶ岳高原農協連の

発足 13 市乳工場の建設……………野坂 雅子…三九〇

(九) 平沢保育園の歴史……………野坂 雅子…三九〇

1 はじめに 2 平沢保育園のはじまり

3 農村保育について 4 保育内容のつみ

かさね 5 保育所……………山極 悠

(一〇) 南牧村森林組合……………菊池 民雄…三九六

1 南牧村森林組合の成立 2 組合創立以

來の歩み

(一) 村 政……………山極 悠……………三〇八

1 歴代村長 2 歴代村議会議長

3 歴代教育長 4 予算の移りかわり

5 主なでき事

(二) 教育委員会・PTA……………今井長夫……………三三三

五 諸産業の発達…………………………三三六

(一) 石灰工業……………井出 正元……………三三六

(二) 製糸事業……………井出 正元……………三三八

(三) 高原野菜の発展……………菊池源之助……………三三八

(四) 酒 造 業…………………………三三五

(五) 野辺山高原の水田……………吉沢与四郎……………三三五

(六) 甘藍採種……………吉沢与四郎……………三三七

(七) 野菜栽培の歴史……………小池 哲雄……………三三八

1 野菜栽培の始まり 2 小海線全線開通

と野菜流通

(1) 野菜産地化への歩み (2) 戦時下に野菜に着手

(3) 戦後の開拓と野菜 (4) 沢庵漬事業の確立

確立

3 昭和三十年代

(1) 本格的機械化時代に (2) 酪農と野菜の主要産地形成

(3) 高原野菜三品目への完全転換期 (4) 農業立村と観光

4 農業近代化への足かけ

(1) 酪農振興 (2) 洋菜の驚異的伸びと市場拡大

(3) 低温流通と予冷库 (4) マルチ栽培の普及

5 全国有数の野菜供給基地へ

(1) 真空予冷库建設と保鲜対策 (2) 新品目開発と産地の使命

(3) 連作障害深刻化 (4) 稲転政策と野菜産地 (5) 現代における野菜

### 第三編 民俗編

#### 第六章 村の社寺と信仰……………菊池 清人……………三五五

一 神 社…………………………三五五

(1) 海尻諏訪神社…………………………三五五

(2) 海の口湊神社…………………………三五〇

(3) 広瀬諏訪神社…………………………三五三

(4) 平沢諏訪神社…………………………三五三

(5) 板橋大山祇神社…………………………三五七

(6)	板橋天神社	三五六	(4)	神使としての動物	三七〇
(7)	梅の宮	三六〇	五 寺 院		
(8)	明治初年村にあった神社	三六〇	(1)	海尻山医王院薬師寺	三七〇
(9)	江戸時代にあった神社	三六一	(2)	小海町本村松源寺	三七二
(10)	その他の神社	三六一	(3)	川上村龍昌寺	三七三
(11)	愛宕権現祭	井出 正元 三六二	(4)	津金山海岸寺	三七四
(12)	馬頭観世音の祭典	〃 〃 三六三	(5)	平沢の薬王寺	三七六
(13)	厄除け祭	〃 〃 三六三	(6)	延命寺と来迎寺	三七六
(14)	涅槃会と花祭り	〃 〃 三六四	(7)	明照寺	三七七
(15)	海の口の神社合祀	高見沢 正 三六四	(8)	海尻の清光寺	三七七
二	熊野信仰	三六五	(9)	海の口清泉寺	高見沢 正 三七九
三	自然の神	三六七	六 民間信仰と石塔・石仏		
(1)	水の神	三六七	(1)	庚申塔	三八〇
(2)	木の神	三六七	(2)	地藏	三八一
(3)	石の神	三六七	(3)	道祖神	三八二
(4)	山の神	三六八	(4)	十九夜塔・二十三夜塔	三八三
(5)	火の神	三六八	(5)	如意輪観音	三八四
(6)	日と月の神	三六八	(6)	六十六部廻国塔	三八四
四	動物信仰	三六九	(7)	念仏供養塔	三八五
(1)	猿	三六九	(8)	三界万霊塔	三八六
(2)	狐	三六九	(9)	水神・水天宮	三八六
(3)	蛇	三六九	(10)	山の神	三八七

(11) 馬頭観世音	一三六
(12) 五輪塔	一三七

## 第七章 民俗

(13) その他の石塔	一三八
(14) 伊勢講	一三九

## 高見沢正

一 年中行事	高見沢 正	一三二
二 衣・食・住		一三八
1 住居		一三八
2 食事		一四一
3 衣服		一四三
三生 産		一四四
1 農業		一四四
2 魚撈		一四五
3 その他の生産		一四六
四 運搬・交易		一四七
1 運搬		一四七
2 交易		一四八
五 子供習俗		一四〇
1 獅子舞		一四〇
2 かんがり		一四一
3 道ろく神		一四一
4 天神まち		一四一
5 その他		一四二
六 講集団		一四三
1 秋葉講		一四三
2 観音講		一四三
3 峠講		一四三
4 無尽講		一四四
七 伝説	菊池 清人	一四四
八 迷信		一四九
九 ことわざ		一四七
一〇 天気に関するいい伝え		一四六
一一 わらべ歌		一四六
一二 南牧村の姓	吉沢与四郎	一四五
一三 南牧の新聞購読数	吉沢与四郎	一四五
○南牧村の歴史年表		一四六
あとがき		一四七

- 1 出版までの経過 2 南牧村誌刊行会委員  
 3 南牧村誌編さん委員会委員 4  
 執筆者 5 古文書・資料提供者 6 参  
 考文献